南砺市民病院 Nanto Municipal Hospital

病院だより 第74号

令和２年 12月24日

年頭のご挨拶

院長 清水 幸裕

皆さま、明けましておめでとうございます。

令和２年は、３月末から富山県でも新型コロナウイルス感染者が発生し、病院も急遽その対策に追われることになりました。院内での感染防止対策を実施し、入院患者さんへの面会制限を開始しました。面会制限は現在もお願いしていますが、入院しておられる患者さんがご家族に会えないということは可能な限り避けたいと思っています。しかし、院内感染クラスターが起きて病院の医療提供を制限せざるを得ない状態になっては、地域医療を支えられなくなる可能性が高いため、苦渋の判断として面会制限をお願いしています。このような事情をご理解のうえ、新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは、ご協力をお願いいたします。

４月には院内でPCR検査ができる（２時間で結果が出ます）ように準備を進め、８月から早急に結果の判定が必要な検体のPCR検査を院内で行っています。７月には駐車場に発熱外来専用コンテナを設置し、10月にはトヨタモビリティ基金に応じPCR検査車両が１年間無償貸与されました。PCR検査車両は、クラスター発生時など必要な時には現場に出向いてPCR検査の検体採取を安全に行うための車両です。これからも、いろいろな場面での最善の感染対策を考えながら皆さまに安心して生活していただけるよう、また必要な医療をしっかりと受けていただけるように整備していきます。

昨年４月にドクターカーの運用を始めました。すでに200回以上出動しており、救急患者さんにいち早く接触して初期診断・初期治療を行うという救急医療の使命に十分に貢献できていると考えています。今後も、皆さまのご要望にしっかりとお応えできるよう継続的に運用方法等を検討し改善していきたいと考えています。

昨年秋には、病院独自の総合診療医育成プログラムを作成し、日本専門医機構に認可されました。総合診療医は、これからの地域医療にとって重要な役割を担う医師です。今までは富山大学のプログラムの中で育成してきましたが、今後は病院独自の総合診療医の育成を行っていきます。

新型コロナウイルスの感染拡大の中、今年も皆さまのためそして地域医療のために病院が何をすべきか、皆さまと一緒に考えて実行していきます。これからもご支援・ご協力をお願いいたします。

発熱外来について

当院では、８月から病院敷地内（南棟玄関前駐車場）に設置したコンテナ内の発熱外来で診察を開始しました。施設内は、室内の空気が外に漏れない陰圧設備を設けており、ウイルス感染を防ぎ、安全に診療できるような構造となっています。

先日、砺波医療圏で新型コロナウイルスの陽性者が確認され、第3波による感染の猛威は身近に感じる状況となってきました。今後、冬期に向けて発熱患者の急増が予想されます。市民の皆さま一人ひとりが今できる感染対策を実施し、市民病院としても皆さまの健康を守れるよう今後も努力していきます。

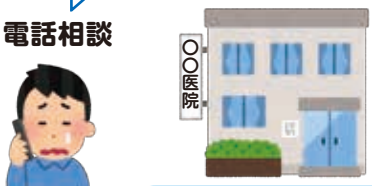
《発熱等がある場合は、まずは電話相談を！》

発熱等症状のある方

電話相談

当　院
（南砺市民病院）
TEL：0763-82-1475

または



かかりつけ医
（身近な医療機関）

案内

発熱外来

【当院での運用時間】
平日・日中→発熱外来
休日・夜間→救急外来
※状況によっては車内での診療になる場合がありますのでご了承ください。

PCR検査車両引き渡し式が行われました！

日 時 令和２年10月26日(月)

新型コロナウイルス対策として、南砺市に「PCR検査車両」が県内で初めて導入されました。この車両は、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金から、１年間無償貸与されるもので、南砺市民病院に配置されることになりました。

PCR検査車の導入は北海道に続き２例目です。全国のモデルとなるよう中山間地域での有効な使い方を検証していきたいと考えています。

引き渡し式の様子

第1期生の看護師特定行為研修修了式

日時 令和2年9月30日(水)
会場 南砺市民病院

第1期生看護師特定行為研修修了式が行われ、清水院長より1年6ヶ月間の課程を終えた第1期生2名の受講生に、修了証が授与されました。

清水院長からは、「特定看護師に大変期待している。学んだ事を現場で活かして欲しい。皆のモデルとなるように頑張って欲しい。」と言葉が贈られました。

南砺市民病院では2019年より特定行為研修指定機関となっており、この度2020年9月第1期生の研修修了者が誕生しました。特定行為研修を修了した看護師は、「特定看護師」と呼んでいます。特定看護師と分かるように白衣の胸ポケットにバッジをつけていますので、お気軽にお声かけ下さい。

長い研修期間でありましたが、無事に研修を終えることができました。これからは、患者総合支援センターで勤務しますので、患者さんのトリアージの他、手順書に基づいて特定行為ができるよう研鑽を積んでいきたいと思います。また、「特定看護師がいて良かった」と思っていただけるよう、質の高い看護を提供できるように頑張っていきたいと思います。

研修生

1年6ヶ月の研修期間は長いと思っていましたが、振り返って見るとあっという間でした。夜勤をしながらの研修でしたが、師長やスタッフの協力も有り、研修を終えることができました。これからは、学んだ事を活かし、皆の手本となるように頑張っていきたいと思います。

研修医紹介

初期研修医 吉野裕貴

今年度から南砺市民病院で初期研修をさせていただいております、吉野裕貴と申します。学生時代に当院での実習を行い、研修医が主体的に動き、多職種で連携しながら患者さんを診ることのできる環境と、井波の町並み・風景に魅力を感じ、当院を研修先に選びました。私は学生時代に剣道部に所属しており、機会があれば南砺市でも稽古に参加したいと思っています。まだまだ、南砺市について知らないこともあり、皆さまから教えていただくことが多いと思います。お気軽に話しかけていただけると幸いです。まだまだ未熟で、至らない点が多い私ですが、南砺市の医療の一助となれるよう、これからも精進していきますので、よろしくお願いいたします。

アルツハイマーデーポスター展示

日時　令和2年9月18日～30日
会場　南砺市民病院　1階フロア

9月「世界アルツハイマー月間」にちなみ、当院でも認知症への理解を深めていただくために、認知症啓発イベントを開催しました。認知症は誰もが関わる身近なことです。しかし、イメージだけが先行し、あまり正しく理解されていません。認知症の方は、分からないこと、出来ないことが増えていき、不安を抱えています。不安を和らげるには、あなたの笑顔と3つの「ない」①**驚かせナイ!**②**急がせナイ!!**③**自尊心を傷つけナイ!!!**がポイントです。身近な方の関わり方により、認知症の方も安心して過ごすことができます。私たちは、「認知症かも…」と思われた時から、皆さまと一緒に考え、力になっていきたいと考えています。

お問い合わせ　入院中の方：「認知症ケアチーム」
それ以外の方：「もの忘れ外来」

第56回 全国糖尿病週間ポスター展示

～テーマ：サルコペニアとフレイルを予防して健康長寿～

日時　令和2年11月9日～13日
会場　南砺市民病院　1階フロア

今年は新型コロナウイルスが流行していることもあり、ポスター展示のみとなりました。サルコペニアとは「筋肉の量と筋力が低下した状態」、フレイルとは「高齢期に心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態」を意味しており、糖尿病との関係や予防方法や自己チェック・診断方法、筋肉量が保てる食事療法などをご紹介しました。検査に行く途中や会計の合間に多くの方にご覧いただきました。

画面を通して面会してみませんか？

ご家族
救急外来待合室

患者さん
東棟　回復期病棟

面会モニターによる面会を希望される方は、患者総合支援センター「スマイル」へお申し込みください。

対象者：面会を希望される患者さんで、車椅子に座ることが可能な方と、そのご家族

使用時間：平日9：00～17：00　1組あたり　5分程度

耳鼻咽喉科 診療時間変更のお知らせ

12月1日（火）より毎週火曜日の診療を以下のように変更しました。

【変更前】　9：00～15：30
【変更後】　**9:00～12:00**
（受付時間8：30～11：30）

※木曜日は通常通りです。

ご迷惑お掛けいたしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

Nanto Municipal Hospital
南砺市民病院

〒932-0211 富山県南砺市井波938番地
TEL:0763-82-1475　FAX:0763-82-1853
http://shiminhp.city.nanto.toyama.jp/

理念　皆さまの意向を尊重した質の高い医療の提供により地域社会に貢献します